

令和5年3月15日(水)  
13:00-17:00  
群馬県庁 29階 292会議室

第12期 群馬県環境アドバイザー連絡協議会  
活動報告会 次第

- ◇ あいさつ
  - ・群馬県環境アドバイザー連絡協議会 第12期代表 西村 豊
  - ・群馬県環境政策課 小野里補佐
  
- ◇ 部会発表 (R3年 R4年の活動成果のまとめと来年度の計画、意見交換)
  - ① 全体 13:00～13:15 (代表 西村)
  - ② 温暖化エネルギー 13:15～13:40 (温暖化エネルギー部会 奈賀)
  - ③ 自然環境部会 13:40～14:05 (自然環境部会 田中)
  - ④ ごみ部会 14:05～14:30 (ごみ部会 山田)
  - ⑤ 広報委員会 14:30～14:55 (広報委員会 井上)
  
- ◇ 地区発表 (行政との協働が進んでいる地区の活動内容を紹介)
  - ① 前橋 14:55～15:15 (前橋 宗)
  - ② 沼田 15:15～15:25 (沼田 角田)
  - ③ 太田 15:25～15:45 (太田 西村)
  
- 【休憩 15:45～15:55】
  
- ◇ 脱炭素まちづくりカレッジ 15:55～16:55 (角田正基)
  
- ◇ その他

-以上-

## 環境アドバイザー連絡協議会の活動報告（令和3年度、4年度）

令和5年3月15日

### I. 定期総会

- ・第12期役員を選任
- ・県からの情報提供

### II. 環境フォーラム（県の事業に協力）

- (1) 令和3年度 「今日から始めるSDGs～環境編～」 アンカンミンカン富所鉄平  
11月25日 群馬県庁32階 NETSUGEN（パブリックビューイング）
- (2) 令和4年度
- Day-1 11月22日 「私たちにできるごみ減量」 NETSUGEN
- Day-2 11月23日 「みんなで考える群馬県の脱炭素まちづくり」 NETSUGEN

### III. 群馬県環境フェスティバル（令和5年2月18日～19日）

高崎市Gメッセ群馬で開催 連絡協議会として出展（全体と部会・委員会で活動報告）

### IV. 脱炭素まちづくりカレッジ

- 1月22日 県庁
- 3月15日 県庁（短縮版）

### V. 幹事会

#### (1) 令和3年度

- ・7月20日：連絡協議会の活動について、地区代表（世話役）について
- ・10月19日：アドバイザー活動について、幹事名簿をアドバイザーに配布する
- ・12月24日：環境フォーラムの反省と今後の方針、県など行政との協力について

#### (2) 令和4年度

- ・6月16日：ごみに関する勉強会について、環境サポーターについて
- ・9月21日：アドバイザー活動活性化策の意見交換、食品ロス削減推進サポーターについて
- ・12月14日：群馬県環境フェスティバルについて 3月報告会についての検討
- ・3月15日：部会・委員会の活動報告と行政との共同が進んでいる地区の報告

### VI. 食品ロス削減サポーター（消費者庁の講習と試験を受験し登録申請）

第1回：13名が受講し12名が登録済

第2回：9名が受講し8名が登録 合計20名が登録済

### VII. 配布資料

- (1) 環境アドバイザー会則
- (2) 群馬県環境アドバイザー事業実施要綱
- (3) 環境アドバイザーに期待すること（小野里補佐のGN NO. 90記事）

ごみ部会資料

令和3・4年度活動報告

年	月	日付	会場	参加数	テーマ他
令和3	4				緊急事態宣言により中止 グループLINE環境アドバイザー（ごみ部会）開設
令和3	5				緊急事態宣言により中止
令和3	6				緊急事態宣言により中止
令和3	7	15	Mサポ会議室	9	リフィルぐんま、フードロス、地域のごみステーション
令和3	8				緊急事態宣言により中止
令和3	9				緊急事態宣言により中止
令和3	10				緊急事態宣言により中止
令和3	11	16	Mサポ会議室	9	リフィルぐんまへの協力要請受諾、5ゼロ宣言プラごみ0推進
令和3	12	16	Mサポ会議室	9	リフィルぐんまごみ部会での取り組み担当決まる、フードロス問題等
令和4	1	18	Mサポ会議室	10	5ゼロ宣言プラごみ0の推進
令和4	2	22	Mサポ会議室	6	ごみ部会活動振り返り他
令和4	3	15	Mサポ会議室	7	ごみ部会活動振り返り他
令和4	4	19	Mサポ会議室	9	プラ新法、リフィルぐんま、ガラスリサイクル等
令和4	5	17	Mサポ会議室	5	プラごみ0宣言勉強会、プラ新法、ガラスリサイクル説明会開催を決める
令和4	6	14	Mサポ会議室	10	ガラスリソーシング説明会他 ガラスリソーシング(株)社員
令和4	7	14	Mサポ会議室	2	流会（参加者2名のため）
令和4	8	17	Mサポ会議室	6	プラごみ0宣言勉強会準備会
令和4	9	21	県庁292会議室	19	出前なんでも講座プラごみ0宣言勉強会 廃り課職員 連絡協議会との共催
令和4	10	12	Mサポ会議室	6	出前講座振り返り、部会で取り組みたいこと
令和4	11	16	Mサポ会議室	4	環境フェスティバル、前橋リユース活動、取り組みたいこと等
令和4	12				休会（参加者多忙）
令和5	1	14	Mサポ会議室	5	部会で取り組みたいこと コンポスターのワークショップ開催を決める
令和5	2	14	Mサポ会議室	13	WS私の生ごみ対策（コンポスターの使い方）井上金治氏
令和5	3	11	Mサポ会議室	8	令和4年度振り返り

## 温暖化・エネルギー部会

### 活動趣旨

- ・温暖化防止のために、できることは何でもやってみる（自己実践と普及啓発活動）
- ・温暖化問題はエネルギー問題と切り離せないので、適正な再生可能エネルギーの使い方を探る

部会登録者数 111名（2023. 2月）

現在の体制：部会長1名（奈賀由香子）

副部会長4名（酒井千富（ML担当）、金子昭一、国安俊夫、高橋陽子）

部会登録者へは県からの通知のほか、部会のメーリングリストを作成しており、打合せ・情報交換等の連絡に使用しています（現在はメルアドのわかる方50名ほどが登録されています）

### 活動内容

- ・定例会の開催（2か月に一度、土日の午前に開催、現在奇数月に開催。オンラインも併用可能）  
行事関連の打ち合わせ事項が少ない場合は時間を区切ってミニ講演会・ミニ勉強会も開催  
（環境・公共交通・ゼロ宣言のテーマで県の出前講座、行動経済学勉強会、ESDとSDGsミニ講演、RefillJapan説明会、SDGsとCSVミニ講演、議員さんとのお話会、など）
- ・普及啓発活動として地域環境学習事業の実施  
「5アンペア生活記者に学ぶ省エネ術」（2018）講師：朝日新聞記者・斎藤健一郎氏@高崎市役所  
「温泉県群馬の可能性・エネルギーの地産地消」（2019）地熱問題@高崎市労使会館  
「災害時のスマートエネルギーを考えよう」（2020）群馬大学から3名の教授陣@サンデン  
「もったいない！未利用の熱エネルギー」（2021）廃熱利用@共愛学園短期大学部  
「ぐんま5つのゼロ宣言条例と群馬の再エネ」（2022）群馬弁護士会&信州大学（茅野恒秀先生）
- ・ワークショップの開催  
「SDGsと次世代モビリティの普及の取り組みに学ぶ」（2019）@サンデン（伊勢崎市）  
「ミステリー」ワークショップ（2021）立教大学・高橋敬子先生  
「群馬の温暖化対策ロードマップ作りWS」（2022）産総研・歌川学氏&高橋敬子先生
- ・Refill Japanの群馬県窓口（2021.7～） ※ごみ部会にも協力依頼  
※詳細は裏面に
- ・見学会の開催  
伊勢崎市リサイクルセンター21及び浄化センター施設（2022.10）
- ・チーム活動  
太陽光チーム（太陽光発電の適正利用について考える、マップ作り）  
地熱エネルギーを考える会（見学会、講演会の開催、赤城での調査注目）  
公共交通チーム（環境と健康という視点から、市民団体と連動）  
実証実験チーム（ミニ風力発電をワイルドライフガーデンに設置、熱電発電の実験）



### 今後の活動予定

次回定例会は5月14日（日）10時から12時 前橋市市民活動支援センター会議室にて  
SDGsボードゲームの体験会予定

当部会は勉強会や活動など、やりたいことをかなえられる場・仲間づくりができる場を目指しています

## Refill の活動について



Refill Japan (リフィル・ジャパン) は、日本全国に、誰もが無料で水道水を補給できる「給水スポット」を広げることで、ペットボトル等の使い捨て容器入り飲料の利用を減らし、環境負荷の低減と魅力的なまちづくりを推進する活動のプラットフォームです。全国で展開している活動ですが、シンポジウム等の参加により部会内でも「立ち上げるべき」との声を受け、2021年夏より当部会が窓口となり、「Refill ぐんま」が立ち上がりました。現在15名ほどがメンバー用 ML に登録していますが、アドバイザー以外の方もメンバーとして活動しています。マイボトルを利用し、使い捨て容器の削減を提案しています。

### 活動内容

- 1) ML で情報交換のほか、ミーティング開催（必要に応じて不定期）
- 2) 給水スポットを探す活動（調査は沼田みなかみ方面、東部地区、甘楽町、安中市等で開催）  
条件は無料であることと、水道水であること。公共のもの（公民館、公園など）でも、協力店舗でも。  
（ただし、ペット容器に入ったウォーターサーバー等ではなく、水道に直結のもの）  
実際に使えるか、条件を満たしているかを確認して登録作業をする。  
協力店舗にはステッカーとミニポスターを渡して掲示をお願いします。
- 3) イベント等に参加・広報  
2021 遊民谷アースデイ、上州 ESD 会議、2022 アースデイ in 桐生
- 4) Refill Japan の活動参加（全国 Refill サミット、地域 MTG など）
- 5) 自主活動  
2021/10/14 高崎市若田浄水場見学会  
2022/6/13 前橋市駒形駅～サイクリングロード エコウォークと給水スポット登録協力店調査  
2022/12/9～10 Refill 宇都宮との交流会（宇都宮大学・宇都宮市環境学習センター）



現在の給水スポット登録数 407 カ所

公共スポット給水スポット登録店 28 店舗

## 給水だけでなく容器スポット登録も始まりました

Refill の本来の意味「再び詰める」は、水だけではなく容器にも。持参したマイ容器に Refill することで、使い捨て容器の消費を減らし、環境負荷の低減と魅力的なまちづくりを目指します。

飲食店のテイクアウトフードやドリンク、量り売りのお惣菜や調味料、洗剤やシャンプー等を、使い捨て容器で提供するのではなく、お客様が持参した容器（マイ容器）に提供してくれる店舗を探しています。該当する店舗がありましたら、ぜひ Refill ぐんままで情報をお寄せください！

現在の容器スポット登録数 8 店舗



一緒に活動したい、紹介できる店舗がある、などの情報・問合せ先

gunmarefill@gmail.com

# 活 動 報 告

## 群馬県環境アドバイザー前橋会

コロナ禍で会としてまとまって活動行動はほとんどできなかったが、アドバイザーとして個人個人は各地区で可能な範囲の活動を行ってきました。

行政との関係も県環境アドバイザーが発足以来、歴代の地区世話役の方や、会員の方で個人的にも積極的に折りにふれ接触を取り活動をしてきました、特にゴミの問題は重要な課題で取り組んで来ました。ゴミがどのように収集運搬され処理されているか、各施設の見学会を企画し実行、市のゴミ担当者による「出前講座」や勉強会を開催してきました。アドバイザーとして行政に提案したり、陳情をしたり成果もありました。

レジ袋の廃止(エコバックの活用・店頭宣伝活動)、廃食油の回収(各地域に拠点を設置)、コンポストの活用、食器のリユース等、そのほかに地域の公民館と協力して自然保護や観覧会、文化的遺産の保護、子どもエコクラブの指導等各人積極的に活動しています。

この1年では(令和4年10月10日)市のイベントの「リユースマーケット」でのコンポスト活用について「ダンボール実演配布」を共愛学園前橋国際大学の環境サークルとの共同開催で説明展示や材料の配布等を行った。

11月13日市のイベント「チェアリング in MAESOU」で「未使用食器のリユース」を市民・団体に呼びかけ提供してもらい、廃棄せず必要とする方に提供することで廃棄物の発生抑制と再利用を促すといった啓発活動を行いました。(提供された陶器・食器は段ボール12箱分にもなり、配布しきれなかった陶器・食器は留学背が通う日本語学校や障がい者福祉施設に寄付されました。)

コロナもすこし落ち着いてきたのか、年度末でもあり会議や集会等が各団体、地区で始まってきました、前橋会も新年度は状況を見て再開の時期かなと思っています。

## 太田市の環境団体（環境アドバイザー）と行政の協働について

令和5年3月15日

太田市 西村豊

### 太田市の委員会等で活動している環境アドバイザー

1. 環境審議会 3名（全体で20名 環境保全団体 5団体 公募2名）
2. 景観審議会 2名（全体で15名）
3. 環境創造協議会 5名（全体で21名）団体として加入  
（太田市環境基本計画の共同プロジェクトの実施）
4. 太田市1%まちづくり会議委員 3名（全体19名で全員公募）
5. 太田市環境フェスティバル実行委員 3団体
6. 第2次太田市環境基本計画策定委員会 5名（全体で18名）

### 環境アドバイザーの太田市での具体的な活動

1. 環境創造協議会の活動に参加
  - ・ホテルの観察会
  - ・COOL CHOICE 運動（次世代自動車試乗会と啓発活動）
  - ・外来種の防除
  - ・石田川の水調べ
2. 太田市環境フェスティバルに所属団体として出展
3. 環境白書のデータ提供
4. 自然環境の調査や保全活動
5. レジ袋削減店頭啓発活動（環境白書でアドバイザーの活動紹介）
6. 1%まちづくり事業の応募支援

### 行政と良好な関係を築くには

1. 行政との連携はお互いの立場に立って考え、信頼性を築くことが重要。
2. アドバイザー単独での活動は難しいので他のアドバイザーや地域の方との連携も必要。
3. 実行したい内容を行政の計画等に入れる活動も重要（委員会や市議会議員との連携）。
4. 自分で行動した実績を元に各種委員会や会議に参加して意見を述べることも必要。

-以上-

# 群馬県環境アドバイザー利根沼田連絡協議会について

(代表 角田和男)

## 1. 設立年月

利根沼田地区の群馬県環境アドバイザーを集結し、群馬県環境アドバイザー利根沼田連絡協議会を平成13年4月に設置。設立時登録者数は11名。

## 2. 主な活動

- ・代表は群馬県環境アドバイザー連絡協議会幹事会に出席
- ・各種研修会に参加
- ・定時総会、打ち合わせ会の開催
- ・利根沼田地区市町村との連携した啓もう活動
- ・ぬまた環境フェスティバルに出展
- ・ごったくまつりに出展
- ・地域のイベントに参加
- ・市社協バザー並びにフードバンクに協力
- ・公園や道路清掃活動
- ・環境にやさしい買い物スタイル普及キャンペーン（沼田市、利根沼田環境森林事務所、利根沼田明るい社会づくりの会と共同実施）
- ・3R宣言者、クールチョイス賛同者募集
- ・市民活動センター主催「パネル展」（年2、3回）に、パネル（A2判）を掲出し環境アドバイザーについて紹介している。

### 【各アドバイザーの主な経歴と現在の活動】

- ・群馬県環境審議会委員 ・沼田市環境審議会委員 ・沼田市自然エネルギー研究会委員
- ・沼田市のごみを考える会代表 ・川田ひだまりの会代表 ・整理収納アドバイザー
- ・沼田市ボランティア連絡協議会運営委員 ・群馬県環境学習サポーター
- ・食品ロス削減推進サポーター
- ・群馬県地球温暖化防止活動推進員 ・地球温暖化対策利根沼田地域協議会委員

## 3. 「ぬまた環境ネット」の設立

市内環境関連団体のネットワークを構築すべく、沼田市環境課と協議を重ねた。その結果、平成21年4月1日、16団体の賛同を得て『ぬまた環境ネット』を立ち上げることができた。環境アドバイザー角田和男が会長に、同じく上原和枝が副会長を務めている。

## 4. 沼田市との協働連携

沼田市の望ましい環境像（空気 澄んだ水 緑豊かな、自然にやさしいまち）を実現するために、市民、事業者、市がそれぞれの役割を認識し連携、協力して取り組んでいる。とりわけ、ぬまた環境ネットは牽引役を担っている。

## 5. 沼田市民活動センターの運営に参画

平成22年1月、沼田市民活動センター創設当初から運営委員を務めた。当協議会では、同センターが年4回発行する情報紙を活用し、市民に対しタイムリーに情報を提供している。

## 6. 課題・基本姿勢

- ◎就労年齢引き上げ：70歳までの就業確保措置をとることが努力義務となっている。
- ◎会合時間の制約：昼間の開催が望ましいが、勤めているアドバイザーは出席は難しい。
- ◎ボランティアであることを念頭に、無理強いはしない。できる範囲において活動する。なお、当協議会では会費は徴収していない。活動費用は自己負担としている。

### ボランティア活動4つの原則

- ◎自ら進んで活動する 自主性・主体性
- ◎ともに支え合い、学び合う 社会性・連帯性
- ◎見返りを求めない 無償性・無給性
- ◎よりよい社会をつくる 創造性・開拓性・先駆性

(ご清聴ありがとうございました。)



## 四季折々豊かな『利根沼田地域』をご紹介します。

市町村名	面積 (km <sup>2</sup> )	市役所・役場標高(m)	人口 (人)	おみやげ
沼田市	443.46	414.039	45,208	みそパン
片品村	391.76	813.0	4,096	はなまめ甘納豆
川場村	85.25	535.1	3,121	プレミアムヨーグルト
昭和村	64.14	345.0	7,007	こんにやく
みなかみ町	781.08	378.2	17,602	生どらやき
計	1,765.69		77,034	

利根沼田地域は群馬県の北部に位置し、群馬県面積(6,362.28 km<sup>2</sup>)の約28%を占め、その大半は森林で昭和村を除き沼田市や片品村、川場村、みなかみ町はそれぞれ80~90%が森林です。

利根川上流には5つのダム(矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、菌原)と、玉原発電所をはじめ数多くの水力発電所があります。

四季折々豊かな自然に囲まれ、米や野菜などの農産物、りんごや、ぶどうなどの果物、日本酒や地ビール、飲料水などを生産しています。

谷川岳をはじめ至仏山、武尊山、皇海山などの山々、丸沼や洞元湖などの湖沼、スキー場、キャンプ場、温泉があり、道の駅には多くの県内外観光客が訪れています。

片品村は尾瀬国立公園入山口として知られています。

奥利根は自然が育む湧水が豊富で、片品村は平成の名水百選に認定されていて、村内10箇所で湧水を味わうことができます。

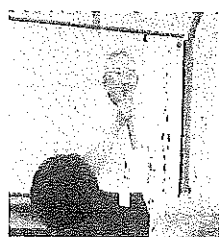


### 「群馬県環境アドバイザー利根沼田連絡協議会」活動の一部



ドイツの環境を学ぶ  
講師

クリスティーネ・パウアーさん



出前講座



甲冑着装で清掃活動



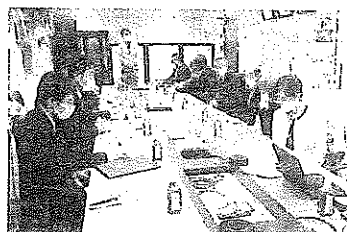
ローソクづくり



川場いちごハウス見学



紙工作  
(ぐんま昆虫の森)



エネルギー勉強会



フリーマーケット(売上金は活動資金に)



マイバッグキャンペーン